



SRC 自主調査の調査結果について

自転車の安全利用に関するアンケート（SRC 自主調査 001）

株式会社サーベイリサーチセンター（本社：東京都荒川区、代表取締役：藤澤士朗）は、自転車の安全利用についてインターネットリサーチモニターを対象としたアンケート調査を実施しました。

■調査の背景

交通事故の件数は年々減少していますが、その内訳をみると、自転車事故の割合は増えている傾向にあります。他方、事故対策の1つとして自治体や学校で「自転車免許制度」を導入する動きもあり、事故の減少効果も報告されているものの、制度自体があまり知られていません。

そこで株式会社サーベイリサーチセンターでは、自転車の利用者を対象に、利用状況や安全意識、免許制度などについて、アンケート調査を実施しました。

■調査の概要

- ・調査地域：東京圏（東京23区）、大阪圏（大阪市、門真市、池田市）
- ・調査対象：調査地域に居住する16歳以上の男女個人のうち、自転車利用者（月に数回以上）
- ・調査方法：インターネット調査（インターネットリサーチモニターに対するクローズド調査）
- ・調査内容：利用している自転車／利用の状況／安全対策（安全講習・保険・免許）／事故・届出 など
- ・有効回答：1,023 サンプル（圏域×性年代の均等割付目標）
- ・調査期間：平成24年6月29日（金）～7月4日（水）

■調査結果の概要

▼利用している自転車

- ・回答者の一番の利用目的は、買い物が6割、通勤が3割弱。
- ・一番の利用目的で使う自転車は、シティ車・ママチャリが8割、スポーツ車は1割。
- ・その自転車の購入時期は、4年以上前が半数、1年から3年前が3割強。
- ・自転車を選ぶときのポイントは、価格が7割、サイズ、機能がそれぞれ5割。
- ・点検整備は、したことがない・ほとんどしないが7割近くとなり、月に数回以上はわずか1割。

▼自転車の利用状況

- 通勤・通学・買い物利用者の目的地までの距離は平均 2.6km、同じく時間は片道平均 12 分。
目的別にみると、買い物よりも、通勤・通学のほうが、距離も時間も長い。
- 自分は安全運転ができていると思っている人は3割、それなりにできているも合わせると9割となる。
- まわりの自転車利用者の走行で危険だと思っているもの*¹は、走行中の携帯電話使用が7割、信号無視が6割半ば、併進走行、無灯火走行が6割弱などとなっている。
- 自分が度々あるいはたまにしてしまう走行*¹は、歩道走行が9割、車道走行車と併走が7割、信号無視と指定場所一時不停止がともに6割となっている。なお、歩道走行はそれほど危険に思われていない。
- 歩行者や車への要望は、路上駐車をしないでほしい、追い抜くときに十分な間隔をあけてほしいなど車への要望が多い。なお、買い物利用者、子供あり利用者では全般的に要望が多い傾向にある。

▼安全対策（安全講習・保険・免許）

- 安全講習の受講者は2割、自転車保険の加入者も2割、自転車免許の保有者に至っては1割となり、安全対策が図られているとは言い難い状況。
- 自転車免許を取得した場所は、居住自治体が6割強、学校が2割。
- 免許取得後の自転車走行の変化は、いずれの走行内容*¹についても、およそ半数が変化なしとしている。残り半数は、やらなくなった、あるいは注意するようになったとなるものの、上記「自分が度々、あるいはたまにしてしまう走行*¹」について免許有無別にみると、それほど傾向の差がみられない。
- 免許を持っていない人では、制度を知らないが過半数、聞いたことはあるが4割と、認知度が低い。
- 免許制度を必要と感じる人は全体の半数、免許保有者で6割弱。持っていない人の取得意向は8割。
- 免許制度が不要な理由は、約半数が周りも取得していないと意味がないとしている。

▼事故・届出

- 自転車走行中の、加害者または被害者としての事故経験は3割弱で、被害者になるケースが多い。
- 自転車同士の事故は4割強、うち警察に全て届け出た人は1割、歩行者・車の事故に比べ届出が少ない。
- 自転車走行中に警察などから注意を受けた経験があるのは3割弱、無灯火や2人乗りでの注意が多い。

*¹ 自転車の走行内容：①酒酔い運転、②信号無視、③指定場所での一時不停止、④無灯火での走行、⑤自転車複数台の横並び走行併進、⑥制御装置ブレーキの整備不良、⑦走行中の携帯電話等の使用、⑧走行中のヘッドフォンやイヤホン等の使用、⑨自転車の歩道走行、⑩自転車の車道走行車と併走、⑪自転車の車道走行車と逆走、⑫走行中の傘差し、⑬雨天走行、⑭2名乗り（幼児を除く）、⑮3名乗り（幼児を含む）、⑯ブレーキ無し自転車での走行

■添付資料

別紙：調査結果の概要

■本件に関するお問合せ先

株式会社サーベイリサーチセンター（<http://www.surece.co.jp>）

〒116-8581 東京都荒川区西日暮里2丁目40番10号

岡田良（okada_r@surece.co.jp） TEL：03-3802-6715 FAX：03-3802-0282

●調査結果の内容については無断転載・複製を禁じます。